

(稲沢市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 23 校、中学校 9 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0 人
		地域学校協働活動推進員		30 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		0 人
		地域コーディネーター		0 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 23 校	中 9 校
		地域学校協働本部がカバーしている学校数	小 23 校	中 9 校



(活動の実際)

稲沢東小学校の取組

《目的》

- ・いつ発災してもおかしくない「南海トラフ巨大地震」。
今後の学校防災の在り方を検証し、考える機会とする。
- ・学校周辺環境を良くし、地域関係を深める。

《活動内容》

- ・教育者・地域の方向け「学校防災講座」
防災の専門家に来ていただき講演していただいた。
机の下での身の守り方のコツなど実践した。
- ・学校周辺清掃活動
稲東小 6 年生児童と PTA と地域ボランティアが合同事業として、校内の除草作業を実施した。
その後、運動会のためのテント張りも実施した。

《活動で意識していること、工夫》

- ・1 人でも多くの市内の教職員や関係者の方に参加していただきたいと思い、できる限りの連絡網で参加を呼び掛けた。
- ・「環境を良くする」、「地域関係を深める」ためにスポーツ青少年部会と環境部会の合同事業として、稲沢東小学校 PTA と協働し清掃活動を毎年実施している。

(◎成果と●課題)

- ◎大事なものは児童も大人も自分で危険に気付いて自分を守るために行動すること。今までの避難訓練で、南海トラフ巨大地震から命を守れるだろうかを考える機会となった。
- ◎学校と地域との連携を深め、子供たちの学校環境をよくすることにつながっている。
- この取組をスタートとし、防災意識が稲沢市全域に広がっていけばと思う。

(関係者の声)

- ・避難訓練の形骸化など、ハッとさせられることがたくさんあった。
- ・震災経験のない子供たちに防災意識をもたせるためには気づき、考えることが大切と痛感。
- ・運動会前に運動場がきれいになって、とても気持ちよく活動できた。(地域ボランティア)
- ・地域の人や保護者と会話しながら除草作業していたため、あっという間だった。(PTA)
- ・地域の皆様のご協力で子供たちの環境整備ができ、感謝している。(学校関係者)